

金城大学短大だより

No.55

平成25年12月20日発行

金城大学短期大学部 白山市笠間町1200番地〒924-8511 Tel.076(276)4411

URL:<http://www.kinjo.ac.jp/>

E-mail:tandai@kinjo.ac.jp



10月26、27日の二日間に渡って、金城祭を開催しました。数日前より台風の直撃が予報され、大事を取って通常前日に行うテントの設置を当日の朝に変更したり、屋外のメインステージをアリーナで組むなど対応に追われました。

幸い台風の進路は大きく逸れて雨は止んだものの、風が非常に強い中での幕開けとなりました。それでもMAY'Sのライブには学内外から

多くの観客が駆けつけ大変盛り上がりました。

二日目は一転して晴天の中多くの人出で賑わい、模擬店にも行列ができていました。各種のイベントや展示、恒例のカラオケや子供向けのステージなどを行いました。

初めてアリーナでメインステージを行いましたが、事故も無く盛況のうちに終了しました。

先進的取組 「金城短大の先生は、ファシリテーター」

昨年9月に文部科学省「産業界ニーズGP (Good Practice)」に、北陸の短大では本学1校だけが選定され、現在、北陸三県の5大学と連携して教育改革に取り組んでいます。今回は、その取組の中で、「教職員がファシリテーターになる」トレーニングをしていることについてご報告します。

「ファシリテーター」とは、グループ活動や会議などを円滑に進めたり、参加者の能力を促進したりする人を意味します。本学では、学生が授業を一方的に受けるだけでなく、学生自身が主体的に考え、学びを生み出していく参加型の授業になるよう、教員がトレーニングを受けています。学長自らも研修会に参加するという全学体制で学びを深めています。このように全学体制で教員がスキル向上をしている大学は、未だ非常に少ないと思います。

講師には、発創デザイン研究室プロファシリテーターの冨永良史先生をお迎えし、今年には既に3回(6/22、8/8、9/28)研修会を実施しました。

1回目のテーマは、「グループワークを活性化するには?～活気と学びが両立する条件～」。

5時間のワークに取り組みました。いくつかのワークを通して、自分の授業の中にど



のようにワークを取り込んでいけばいいのかを考える良い機会となりました。

2回目のテーマ「授業をデザインする(1)～学生が目線から見つめ直す?～」では、1コマ90分の授業設計をしました。写真(右)は、授業デザインのプレゼンテーション風景です。教員がそれぞれ熱く語る様子が印象に残りました。学生が自ら考えて活用できる力を引き出すような授業デザインの見直しを図りました。



3回目のテーマ「授業をデザインする(2)～リズムが感じられますか?～」は、後期の授業が始まる直前の研修で、授業デザインの再確認をする良い機会となりました。2年間の短大生活で学生に身に付けてほしい能力として、判断力・生活上の知識・公私の区別・マナー・一般常識・自己表現力・行動力・将来を見据える力・思考力・継続力・忍耐力・文章力・想像力・考える力・興味を持つ力・基礎学力などが挙がりました。本当に欲張りですが、さまざまな能力を身に付けて欲しいと願っていることも共有しました。

今後も教員研修を継続し、学生達がより豊かな学生生活を送ることができるよう努力していきます。

幼児教育学科
「フォローアップ講座」開催

産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制事業の1つである、「フォローアップ講座」を8月25日(日)と9月1日(日)の2日間に亘り、同じ内容で開催しました。

今年度は新しい試みとして、就職後6ヶ月の卒業生と半年後保育現場へ就職する幼児教育学科2年生がともに学び、ともに語る場を設けました。講座の内容は「障害児と、ともに育つために」です。卒業生は富山県や福井県、また、珠洲市や輪島市からも参加があり、一

緒に受講することで、より深く保育を学ぶ機会となりました。

また、語る場では、グループによる意見交換会をし、卒業生からは、同じ仕事をしている者同士悩みが共有でき、自分を見直すきっかけになったなどの声が多くありました。一方、2年生からは、卒業生の声を聞くことができ、改めてやりがいのある仕事だと実感したようです。

卒業生がそれぞれが抱えている悩みを懐かしい先生や仲間に話すことで、いつの間にか笑顔になり帰っていく後ろ姿に、「がんばれ」とエールを送りながら見送りました。

平成25年度 大学コンソーシアム 地域課題研究ゼミナール支援事業 小松市との連携
障がい児と健常児が共に学ぶことができる環境づくり
～幼児教育学科～ 和泉・百海ゼミ

昨年は、小松市立第一保育所との連携のもと、「わくわくサイエンス」と銘を打った地域密着の体験型学びを展開しました。

さて、今年度は、子どもの暮らしの中で最も大切で、また興味関心の強い「食」を中心テーマに、



なぜ?不思議!の世界を探求しています。身近にある材料を使い全員が参加して楽しい実験に取り組み、ドキドキするような探求心を生み出しています。とりわけ、統合保育児のもつ素直な疑問・科学的な発見の芽を大切に取り上げることで、クラス全体の遊びや学びの高まりを得、そして仲間作り・人間関係の広がりが見られるようになってきています。

本ゼミの構成員は、1、2年生計26名。11月末までに実施した活動は9回にのぼります。

幼児教育学科
「就職模擬面接会」開催

幼児教育学科では、2年生を対象に就職に向けて10月10日は私立幼稚園の園長先生や主任先生5名をお迎えして、また10月17日には保育園の園長先生9名をお迎えして模擬面接会を行いました。

10日のグループ面接には87名、17日の個人面接には82名の学生が臨みました。終了後の講評会では「自分の言葉で自分らしく話す姿はとても好感が持った。」とお褒めの言葉を頂いた後、

自分自身の長所や得意なことを知り自分自身の言葉で話すことが大切だと、面接に向けてのアドバイスを頂きました。就職に向き合うことの自覚や、子どもたちとのかかわりと同時に保護者とのコミュニケーションを図るための社会常識を身につけること等多くのことを学ばせて頂きました。今後もより一層、適切な就職支援を行っていきたいと考えております。

なお、専攻科受験の学生に対しては受験のための面接練習や作文指導を行いました。

世代間交流事業

幼児教育学科三浦ゼミでは、今年度も白山市や地元幼稚園・保育園・NPOと連携し、「白山市山間部における世代間交流事業」を行っています。活動を開始して4年目ですが、今年は1年生から12名の新メンバーの参加を得て、計24名と過去最多の大所帯と

なりました。

今年度は木滑地区を中心に活動を展開しています。10月には、5月に植えたさつまいもの収穫に行ってきました。今後、年末から年明けにかけて、クリスマス会、雪遊び、雪だるま祭りなどのイベントに参加する予定です。



12月から始まる就職活動に向けて ～キャリアデザイン演習Ⅰ(ビジネス実務学科1年)～

ビジネス実務学科1年全員に対し、キャリア科目として、前期のキャリアデザイン総論に続き後期からはキャリアデザイン演習Ⅰを行っています。この授業の主な目的は、12月から始まる就職活動に向けて、様々なスキルを修得していくことにあります。

まず始めの3回で、企業から6名の人事担当者をお招きして業種別に「求められる人材と自分の磨き方」と題して講話を実施しました。業種としては、金融、印刷、病院、IT、製造、ホテルの分野の方々にお越しいただいて、それぞれの業界・企業で求められる人材の資質と、その資質を修得するために学生時代に何をすればいいかをわかりやすく伝えていただきました。

その次の回には、学生の就職支援サイトを運営している(株)マイナビの担当者に、就職環境の現状と、就職活動に対する考え方、就職サイトの

使い方など就活に必要な具体的な事柄についてお話しいただきました。ほとんどの学生がサイト登録を済ませ、一月後に迫った解禁に向けて、就活モードに入りました。

さらにその次の回には、2年生の中で企業に就職が決まっている学生8名を呼んで、どのようにして内定を得ることができたのか、生の声を聞くことができました。

今後は、就職活動に必要な、自己分析の方法、履歴書・エントリーシートの書き方、面接の対応など具体的に修得していきます。また、その中で実際に企業で働いている卒業生に話をしてもらったり、企業のホームページや先輩の受験報告書を調べて企業研究をしたりします。

最後にはこれらの内容の集大成として、模擬企業ガイダンスを行います。企業の人事担当者を相手に、今まで身につけてきたスキルがどれくらい通用するかを自分で判断しながらその後の就職活動に活かしていくことになります。

ホテル&観光ビジネスコース 東京研修

ホテル&観光ビジネスコースでは1年生を対象に9月10日から12日の2泊3日の日程で東京研修を行ってきました。今年はコンラッド東京での研修から始まりました。金沢のホテルとは違うグレードのホテルを見る事で、学生たちに目指してもらいたい場所というのが理解してもらえたのではないかと思います。後期の

授業に備える意味でも有意義な研修になったと思います。ちょうど2020年の東京オリンピック開催決定直後ということもあり、ホテル業界全体に勢いを感じました。また一方で新規ホテルのオープンなども予定されており、東京のホテルが本学で学んだ学生の活躍の場となる日も近いと感じました。



美術学科 海外研修旅行

9月7日～14日の8日間の日程で、美術学科2年生のイタリア海外研修旅行を実施し、23名の学生が参加しました。

今年度はミラノ、ベネツィア、フィレンツェ、ローマを巡るスケジュールでした。

イタリアはどこを切り取っても絵になり、加えて至る所が世界遺産に登録されています。スケッチ旅行を兼ねた行程では多くの風景を描く事ができました。ルネッサンスの時代イタリアは美術の中心地であったので、美術館や教会で数多くの巨匠の作品に生でふれあう事が出来、大変刺激的でした。ベネツィアでは美しい町並みや運河もさることながら、「アートのオリ



ンピック」とも呼ばれるベネツィア・ビエンナーレの開催期間にあたり、世界中の最先端の美術作品を鑑賞することができました。

期間中は少し雨が降り肌寒い日があったものの、トラブルも無く、無事帰国することができました。ローマ時代の遺跡や中世の宗教絵画から現代美術に至るまで触れたことは、今後の制作の糧となることでしょう。

留学生研修旅行

今年度で11回目となる留学生研修旅行。今回は9月11日(水)～12日(木)に1泊2日で名古屋方面へ行ってきました。

国際交流センター職員に見送られ、留学生7名、日本人3名、教職員3名でいざ出発。バスの中では中国式トランプゲーム「跑得快」に打ち興じながら、最初の目的地「トヨタ博物館」へ。ここでは過去も現在も変わらず、こだわりを持ち続けるトヨタ自動車に一同感動。そして次の目的地「リニア博物館」では、威厳あふれる「蒸気機関車」から最新鋭の「超電導リニア」まで、ズラリと並んだ鉄道車輛に心躍らせ、さらに最後の目的地「名古屋城」では金鯱の威光のまばゆさに圧倒されてきました。夕食時の懇親会では、自分たちの過去を振り返り、今を語りあい、将来への可能性を見いだしました。その姿は、研修で目のあたりにした過去・現

在・未来へと続くニッポンの発展と自分たちとを重ね合わせているようでした。

2日目はナガシマスパーランドへ。数々のアトラクションを思う存分体験し、笑顔とお土産いっぱいでの帰りのバスに乗り込みました。

名残を惜しみつつ大学へ帰ってきたのは午後8時。2日間で手に入れた体験と仲間とともにバスを降り、明日への大きな一歩を踏み出しました。

来年度以降も目で見ても肌で感じ、体感しながら日本をより深く知る有意義な研修旅行を続けていきたいと思っています。



学内団体紹介

◆中原ゼミ

ビジネス実務学科の中原ゼミでは、「医療事務の業務について」、「病院における受付職員の接遇」を研究テーマとしています。文献やインターネットからの情報だけでなく、病院で



働いている医療事務の方へのインタビュー調査も行う予定です。

◆井上ゼミ

ビジネス実務学科の井上ゼミ



では、「日本の近代化と産業」を本年のテーマに、主に明治期のブルジョワや文化について研究を進めております。ゼミの総仕上げとも言える金城学会での研究発表会では、4つのグループに分かれ、渋沢栄一や古河市兵衛、金・銀本位制、コンドルの近代建築そして洋食文化などについての報告を行う予定です。乞う御期待！

平成24年度 金城学園財務概要

消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金	2,448,742
補助金	737,894
その他	250,731
基本金組入額	-607,655
消費収入の部(合計)	2,829,712

消費支出の部	
科目	金額
人件費	2,145,168
教育研究経費	730,642
管理経費	427,193
その他	48,871
消費収入超過額	-522,162
消費支出の部(合計)	2,829,712

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	9,392,791
有形固定資産	8,851,055
その他の固定資産	541,736
流動資産	2,623,473
資産の部(合計)	12,016,264

負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額
固定負債	1,859,645
流動負債	685,225
基本金	11,865,704
消費収支差額	-2,394,310
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,016,264

平成24年度 金城大学短期大学部後援会

決算

(単位：円)

収入の部	
項目	決算
会費	11,070,000
利子	871
雑収入	0
繰越金	4,890,772
合計	15,961,643

支出の部	
項目	決算
学生活動支援補助費	1,017,225
教育活動支援費	1,625,773
就職活動支援費	907,361
クラブ補助費	1,570,400
会議費	459,693
通信費	69,460
学校美化費	81,772
慶弔費	220,000
新聞費	361,292
印刷費	6,562
広報費	97,762
卒業生贈物費	1,476,300
雑費	15,204
事務費分担費	500,000
特別会計繰入	2,000,000
予備費	0
小計	10,408,804
次年度繰越金	5,552,839
合計	15,961,643

平成25年度 金城大学短期大学部後援会役員

会長 饗庭達也
副会長 木村伸一
副会長 百貫登与彦
会計監事 西田葉子
会計監事 畠正人

特別会計決算

(単位：円)

収入の部	
項目	決算
前年度繰越金	0
定期預金(一般会計より繰入)	2,000,000
合計	2,000,000

支出の部	
項目	決算
次年度繰越金	2,000,000
合計	2,000,000

美術学科の受賞者一覧

- ・ IPIA イメージポスターコンペティション2013
石川県知事賞（最優秀賞） 沖佑介
審査員特別賞 宮嶋ゆりあ
※五年連続金城大学短期大学の学生が
石川県知事賞を受賞！
- ・ 第18回七尾日創展
入賞 四津吏永子、茶谷翔子、松本実穂

- ・ 第8回公募白山日創展
入賞 四津吏永子、本郷美佳、藤田秀代、
松本実穂、茶谷翔子、小倉南留美、
寺井あすか、藤木愛、藤田あかね
- ・ 第45回記念 新院展
入賞 四津吏永子、松本実穂、茶谷翔子
- ・ 第38回富山青少年美術展
入選 高田奈都美
- ・ 第28回石川の現代工芸展
入選 徳丸沙希、安崎有香、山田菜月

本山先生の日展特選受賞コメント

この度、第45回日展において特選を受賞しました。学生と同じ年頃だった20数年前に絵の道を志して、挫折もありましたが、それでも只々前を向いて描いてきました。まだまだ道半ばですが、頑張りなさいという受賞かと思えます。学生に一言！一步を踏み出せば自分の中の何か動き出すかも知れない。みんなを応援します。



作品名『ハミングバード』(h162×w130cm)

美術学科 東京研修旅行

美術学科では、東京ビッグサイトで開催されているデザインフェスタの見学を中心に、新たに東京研修旅行を企画しました。デザインフェスタはプロ・アマチュア問わず自由に表現出来るアジア最大規模のアートイベントです。

大型バスで向かうため早朝5時出発の強行軍となりましたが、1泊2日の研修に28名の学生が参加しました。

会場は大勢の出品者と来場者で熱気に包まれ、それぞれの作品やグッズが販売されていました。そこかしこでライブやコスプレ、ライブペインティングが行われており、半日の見学があつという間でした。

近年はインターネットを活用し個人が作品制作・販売を行うことが当たり前になりました。学生達は出展者の熱意と発信力を目の当たりにし、これから創作活動を続けていくことのヒントを得られたのではないかと思います。卒業後すぐに美術関連の仕事に就く者もいれば一般職へ就く者もいます。卒業後5年・10年経っても様々な形で創作活動を続けて欲しいと思います。

美術学科では次年度、金城アートショップと銘打って学生達の作品販売を企画しております。



地域美術演習合宿研修 一湯涌温泉一

9月4～5日に1泊2日で美術学科1年生を対象に湯涌温泉周辺で合宿研修を行いました。地域の伝統文化遺産と自然遺産への理解を深めることをテーマに、野外スケッチや取材を行いました。

初日は金沢湯涌夢二館の見学をし館長さんから竹久夢二の逸話や湯涌温泉の見所をユーモアたっぷりに語っていただきました。夕方からは宿泊先のかなや旅館の女将さんから湯涌温泉の歴史やアニメ「花咲くいろは」の裏話を聞くことができ、学生たちも興味津々に話を聞いていました。2日目は各コースに分かれてスケッチや工房体験などを行いました。



金沢湯涌夢二館の見学の様子



かなや旅館での様子

現地取材をもとにポスター、マンガ、絵画、染物といった各コースの特色を活かした作品を制作し、11月8日から11月25日まで白山美術館にて地域美術演習成果展を行いました。



大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>

テレメール／資料請求受付(24時間)

●音声ガイダンスに従って資料番号を入力して下さい。

IP電話 058-8601-0101

●資料請求番号 160794 2～3日程で資料が届きます。

※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡下さい。

金城大学短期大学部同窓会 <http://www.kinjo-dosokai.jp/>



KINJO

編集後記 編集担当になり、はや1年余り。

紙面の改革を唱えながら実行できないこと、あたかも日本の政治の如しである。ネット時代における紙ベースの短大だよりの役割・存在

在意義とは何か、我々担当者の間では議論が尽きない。